



## 7 「日本女性会議2021 in 甲府」大会からのレガシー

令和3（2021）年10月に開催した「日本女性会議2021 in 甲府」大会において、「男女共同参画社会」や「女性が活躍する社会」の実現に向けた課題や取組方針が話し合われました。この課題や取組方針を大会の成果（＝レガシー）とし、令和4（2022）年度には、本大会に携わった方々をメンバーに「こうふまちづくりラウンジ」を設置し、このレガシーを基に本市へ提言を行うための検討を重ねました。令和5（2023）年2月には検討した結果を市長に提言しています。

この提言内容を、本市の男女共同参画社会の推進にあたり重要なものと捉え、事業化に向けて検討をしていきます。本計画には提言内容を踏まえた記載を盛り込むために、「第3次こうふ男女共同参画プラン」の計画期間を1年間延長し、内容を反映することで、提言内容の実現性を高め、より実効性・将来性のある計画としています。

第3章「施策の展開」内の、それぞれの「行政の取り組み」に、このレガシーに該当するものには **レガシー** と記載しています。

日本女性会議は、男女共同参画に関する国内最大級の会議として、1984年に名古屋市で開催されて以降、全国各地で年1回開催されてきました。2021年（38回目）は甲府市において、県内では初めての開催となり、大会の意義や課題について分析するシンポジウムや、性の多様性や女性活躍などをテーマにした10の分科会などを催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、大会はオンライン配信となりましたが、市内はもとより、全国から多くの方の参加があり、本市の男女共同参画・女性活躍の機運が高まりました。



日本女性会議  
2021 in 甲府

大会テーマ：未来へつなぐ まちづくりは人づくり  
～甲斐の国から ともに～

開催日：2021年10月22日・23日

大会参加者数：1,817人

プログラム再生数：10,007回